

講義コード	1317	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ホイクジッシュウ ニ	(フリガナ)	クニヒロ カツヨ・ヤマグチ キョト
授業科目名	保育実習Ⅱ(後半)	担当教員名	国広勝代・山口季音
英文授業科目名	nursery training Ⅱ		
基準年次(開講期)	4年次(通年)	履修形態	選択(保育士資格必修科目)
曜日/時限/講義室	集中		
授業の方法	実習	授業の方法 (詳細情報)	保育所実習
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	保育所実習、計画、実践、評価		
授業概要・目的	保育実習Ⅰで学んだ実習体験を生かし、本実習では知識・技能を高めることを目的とする。具体的には、保育実習Ⅰにおける保育所の実習で行った観察・参加・部分実習に加え、実際に一日の指導計画を立案して保育を行う。全日の保育に当たり、子どもの実態を捉え、そこからねらいや内容を導き出して計画を立案し、環境設定や準備を行う。そして、計画と実践の相違点を実感したり、臨機応変な対応の必要性などを体験的に理解していく。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 ・既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 		
授業計画			
第1回			
第2回	【保育実習】		
第3回	保育所 ……………10日		
第4回			
第5回	《事前》		
第6回	・保育所実習にあたっての心構えを確認する(「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」を受講)		
第7回			
第8回	《実習中》		
第9回	・各保育所の方針に従って実習を行う。		
第10回	・保育所実習担当教員による巡回指導を受ける。		
第11回			
第12回	《事後》		
第13回	・保育実習報告会で体験報告をする。		
第14回	・実習の自己評価と外部評価を比較検討し、自己課題を見つめる。		
第15回	・実習を振り返り、「保育実習報告Ⅱ」を作成する。		
教科書・参考書等	《参考書》 大場幸夫・大嶋恭二著『保育実習13』ミネルヴァ書房 今井和子編著『記録の書き方 評価のしかた』ひとなる書房		
授業で使用する 機器等	なし。		
予習・復習への アドバイス	保育資格科目の内容を再度確認し、予習・復習に役立てること。		
履修上の注意・ 受講条件等	保育士資格必修科目。		
成績評価の基準等	実習園の評価を基にしながら、実習日誌の記録、巡回指導時の学習態度で評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) レポート(70/100)		
メッセージ	授業で学んだことを忘れず、緊張感をもって実習に臨むこと。		
オフィス・アワー	木曜4限		

その他